

2010年

**11月7日（日曜日） 豊かな森とともに息づく環境新時代の工業団地 - 「森本工業団地」が竣工した！ -**

本日ここに、京都府太田副知事はじめ、多数のご来賓各位のご臨席を賜り、「森本工業団地」の竣工式が盛大に挙行でき、皆様と心から喜びをともにしたいと思います。

まず、この森本工業団地の竣工をこうして皆様にご披露できますのも、ご指導、ご助力いただきました京都府など関係機関の皆様はもとより、ひとえに地権者の皆様、地元森本区の皆様、工事関係者の皆様はじめ全ての関係各位のご尽力、ご協力の賜物であり、心より深い感謝を申し上げます。

本市は、平成16年4月、発足をいたしました。地域を巡る厳しい経済状況の中で本市の持続的な発展を展望するとき、雇用と生活を支える商工業の発展がどうしても欠かせないとの思いのもと、新市発足直後の本市総合計画において新たな工業団地の造成を施策の柱に位置づけ、平成18年から本格的な検討に着手してきました。

振り返れば、造成地の場所をはじめ、造成の規模、形状等の検討を皮切りに、多くの関係者の皆様のご協力とご尽力をいただき、様々な検討と必要な手続きを運んでいただき、平成20年に造成工事に着手しました。その後、工事の手続き、状況等を巡り、ご心配をおかけした局面もありましたが、ご指導もいただき課題を乗り越えながら、本日もご列席いただいている皆様はじめ全ての関係者の皆様のお力により、今日の竣工を迎えることができました。

新たに完成した工業団地は、開発面積15.2ヘクタール、用地面積7.2ヘクタールで本市最大の規模を有する中核的な工業団地となります。

本市は、ご案内のとおり、京阪神等の都市部から距離もあり、また、山間で産業用地や人材の確保に地勢的な課題を持っており、このような立地条件の課題を体系的に克服していくことが、ものづくりの一層の発展を支援していく上で求められています。本・森本工業団地は、本市の南の玄関口に立地し、現在、建設を進めていただいている鳥取豊岡宮津自動車道の仮称・大宮森本インターチェンジにも隣接し都市部とのアクセスにも一番優れるものであり、その規模の大きさと併せて、地勢的な課題も一定克服し、本市のものづくりの将来の発展の上で大きな弾みを得るものと、心から期待をしています。

さらに特徴的なことには、本工業団地は素晴らしい森の自然環境に囲まれ、世界規模で地球環境を大切にしようという新しい時代の中にあって、自然環境または自然環境との調和を求めていこうとする企業の皆さんにはまさにこの上なくぴったりの立地環境であり、多くの企業の皆さんに関心をもつていただけるものと思います。

今後、みどり豊かなこの地から本市のものづくりの一層の発展を期し、一日も早く全

での区画に企業が立地され、また何より、立地企業の皆さんに、立地して本当によかった、と将来ともうなづいていただけますよう、今後とも真剣な努力を果たしていきたいと思ひます。